

2025年度 保育園・保育士の自己評価

特定非営利活動法人深川市公私連携保育会

「保育所保育指針」において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。当法人ではこれに基づき検討し、保育の質の向上を図るため、保育園及び保育士の自己評価を実施しました。

評価の結果を踏まえ、今後の保育計画・保育内容等の改善に活かし、改善していくことでより良い保育を提供できるよう努力していきます。

新中央保育園の自己評価				
<p>2025年度、保育園及び職員の自己評価について下記の通りご報告いたします。総合評価は最後に記載しています。</p> <p>ねらい：保育所の役割や社会的責任を遂行するために、法令等を遵守し、保育所を取り巻く社会情勢などを踏まえ、その専門性の向上に努め、望ましい保育所運営をするため、今年度の当保育園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画(全体的な計画)に生かすため本表を活用します。</p>				
<p>評価の目安：A・・・出来ている B・・・ある程度出来ているが十分ではない C・・・あまり出来ていない又は出来ていない</p> <p>回答者：園長 藪 友博</p>				
自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
1 保育目標について	(1) 子どもの最善の利益を考慮した「保育理念」が明示されているか。	○		
	(2) 保育理念に基づく基本方針・目標が明示されているか。	○		
	(3) 保育方針・保育目標が活かされるような保育内容を考えているか。	○		
	(4) 年齢別目標は、保育目標や乳幼児の実態に即して設定しているか。	○		
	(5) 目標は前年度の反省を活かしているか。	○		
	(6) 理念や方針、目標が職員、利用者に周知されているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>○(1)(2)(6)については、ホームページ、入園のしおり等に記載している。</p> <p>入園のしおりは、毎年度見直し利用者と職員に配布している。</p> <p>○(3)(4)(5)については、全体的な計画、保健・安全・災害計画、食育年間計画、各年齢年間指導計画を基に、職員が各指導計画等を設定できるよう、全てを冊子にして職員に配布している。</p>				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
2 保育・行事について	(1) 保育計画(全体的な計画)が保育方針に基づき作成されているか。	○		
	(2) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき指導計画を改定しているか。	○		
	(3) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○		
	(4) 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めているか。	○		
	(5) 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができ、見通しを持ちながら進めているか。		○	
	(6) 子どもが自発的に活動できる環境が整備されているか。	○		
	(7) 様々な表現活動が体験できるように配慮されているか。		○	
	(8) 同年齢及び異年齢児間の効果的活動の充実を図っているか。	○		
	(9) 行事のねらいや実施回数などの内容を検討し、改善に努めているか。	○		
	(10) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○	
	(11) 評価結果を基に保育の改善に努めているか。PDCA サイクルを取り入れているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>○(1)(2)については、年度末に評価を行い定期的に見直し改定している。</p> <p>●(5)(7)については、保育士不足により子どもたちの意欲を高められるような活動になっていない可能性があるので、来年度に向けて保育士を確保し改善したい。</p> <p>○(6)(8)(9)(11)については、保育士リーダー会議で検討し、保育環境や保育活動の充実向上を図るよう努めている。</p> <p>●(10)については、3歳以上児の希望する保護者との面談時に出た内容の内、可能なものは取り入れるよう引き続き努めたい。</p>				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
3 健康・安全について	(1) 保育士・調理員が連携し、アレルギー児に対応する環境・体制にあるか。	○		
	(2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○		
	(3) 危機管理意識を持ち、緊急時の対応できる体制・マニュアルの作成、保健対策を講じているか。	○		
	(4) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○		
	(5) 不審者等に対する周到な配慮を行っているか。	○		
	(6) 乳幼児の安全のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○		
	(7) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○		
	(8) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管されているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>○(1)のアレルギー児に対しては、給食提供を前提とした上で生活管理指導表を活用し、保育士・調理員が連携し組織的に対応している。</p> <p>子どもが初めて食べる食品は、家庭で安全に食べられることを確認してから保育園で提供している。</p> <p>○(5)については、玄関施錠を開始した。</p>				

4 食育について	(1) 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせ、食育計画を立て、実践しているか。	○		
	(2) 旬の食材や行事食を取り入れ、様々な食材に触れ、味わえるようにしているか。	○		
	(3) 評価結果を元に食育の改善に努めているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>○毎月1回、給食会議を開き評価や結果を話し合い、次の献立や食育計画の参考にしている。</p> <p>食育については、「楽しく食べること」を意識して、食事を楽しむ雰囲気づくりを大切にしている。</p>				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
5 つ て 要 保 護 ・ 要 支 援 児 童 に	(1) 虐待が疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長に届くようになっているか。	○		
	(2) 虐待が疑われる子どもの保護者への対応について、市関係機関、児童相談所等に通告、照合する体制が整っているか。	○		
	(3) 特別な支援を要する子どもに対して、職員全員で情報を共有し、チームで対応しているか。	○		
	(4) 特別な支援を要する子どもに対して、個別の指導計画を作成しているか。	○		
	(5) 特別な支援を要する子どもに対して、家庭や専門機関と連携を図っているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>○(1)については、日頃から報連相の徹底に努めるとともに、毎月保育会議において職員間で情報共有し、全員で対応できるようにしている。さらに、チェックリストの活用を検討している。</p> <p>○(2)については、深川市要保護児童対策協議会に参画し、関係機関との連携体制を構築している。</p> <p>○(3)(4)(5)については、個別の指導計画を作成し、職員全員で情報を共有し家庭や専門機関との連携に努めている。</p>				

6 組 織 ・ 運 営 に つ い て	(1) 能率的・合理的な運営組織になっているか。		○	
	(2) 各種会議や打合せの回数、時間、内容は適切かつ効率的か。		○	
	(3) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○	
	(4) 職員間の連携が取れ、報告・連絡・相談等ができ、共同できる体制になっているか。	○		
	(5) 事業計画の策定、評価、見直しは組織的に行われているか。	○		
	(6) 事業計画は職員、保護者に周知されているか。	○		
	(7) 職員の意見を聞いたり、話し合う場を定期的に持っているか。		○	
	(8) 評価や記録を集積しているか。	○		
	(9) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○	
	(10) 苦情解決の体制づくりは出来ているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>●(1)(2)(3)(4)については、慢心することなく常に改善点がないか振り返る姿勢を持つよう努める。</p> <p>○(5)(6)については、主任保育士と各クラスのリーダー保育士とで構成するリーダー会議において、日々の保育や行事やその時々の問題点などを話し合い各種計画の策定に反映させるとともに、情報を各クラスに伝え、共有している。</p> <p>●(7)については、9/20 に上半期保育反省会議を開催し、職員の意見を聞いたり話し合う場を作ってみたが、十分とまでは言えないため、どのような形が良いか引き続き検討を進めたい。</p> <p>●(10)については、一応体制は出来てはいるが、解決者が不明瞭なことが多いなどの課題が見えるため、今後解消に努めたい。</p>				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
7 研究・研修について	(1) 研究・研修は保育目標の具体化につながるものであるか。	○		
	(2) 研究・研修の計画・運営は適切か。	○		
	(3) 研究・研修の成果を日常保育に活かし、乳幼児の育ちに反映できているか。		○	
	(4) 研修の実践による子どもの理解が深まりを見せているか。		○	
	(5) 各種研究会・研修会・講習会等への参加体制ができているか。		○	
	(6) 各種研修会・講習会等での内容を園内に報告・還元しているか。		○	
○評価の根拠、●改善策				
<p>○(1)(2)については、キャリアアップ研修をはじめ、研修を計画的に実施し、日常保育に生かしていると考えている。</p> <p>●(3)(4)(6)については、キャリアアップ研修等で得られた研修成果を職員にフィードバックする機会を設けるなどして、日頃の保育に反映出来るよう、活かせるような取り組みを検討し実施に努めたい。</p> <p>●(5)については、個々人の希望どおり研修会等に参加できる余裕ある職員体制の整備は、人口減少が著しい本市においては現状困難と考えられる。このため、職員の意欲に応じた自主研修を奨励するとともに、全職員対象とした園内研修日を一定程度確保し、研修機会の充実に努めたい。</p>				

8 情報について	(1) 子どもや保護者に関する個人情報을適正に取り扱っているか。	○		
	(2) 知り得た情報等の守秘義務を果たしているか。	○		
	(3) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○		
	(4) 各帳簿は、適切な方法で作成・処理しているか。	○		
	(5) 園だより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○		
	(6) 掲示板、掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>○(1)(2)については、毎年園内研修を行い職員への周知徹底を行っている。</p> <p>○(3)(4)については、日々適切に取り扱っている。</p> <p>○(5)(6)については、流行している病気や毎日の保育の様子、行事の写真などを掲示するとともに、園だより、保健だより、給食献立表、給食だよりは、保護者向けアプリで発信している。</p>				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
9 地域連携・子育て支援について	(1) 地域との関係が適切に保たれているか。	○		
	(2) 保育園が有する機能を地域に還元しているか。	○		
	(3) 地域に住む子ども同士や親子と一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っているか。	○		
	(4) 子どもの興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○		
	(5) 育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○		
	(6) 専門機関との連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>○(1)(2)(3)については、毎月2回園開放を実施し、地域の親子が遊ぶことができる場を設定している。</p> <p>○(4)については、地域の高齢者との交流行事に参加するなどしている。</p> <p>○(5)(6)については、深川市子育て支援センターが2階に設置されており、そちらの利用者が多いが、保育園に相談があれば職員の専門性を生かした相談体制は整っている。</p>				

総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・職員確保の困難性から、保育士等職員の配置基準は満たしてはいるものの余裕のない体制となったため、現状維持に尽力しなければならなかったが、そのような状況下であっても、新たに親子バス遠足等の親子行事を増やすなど、活動の充実が図られた。 ・職員研修については、救命救急や感染症をテーマとした実践研修を行うなど、園内研修の充実が図られた。 ・運営に関しては、懸案であった市立保育園の統合に伴い2本立てとしていた開園時間を1本化するとともに、市内では初めて延長保育を導入するなど、保育サービスの向上に努めた。 ・課題となっていた防犯対策では、玄関を施錠しインターホンで来園者を確認してから解錠し中に入ってもらふこととし、園児及び職員の安全確保に努めた。 ・職場内のコミュニケーションを図る取り組みについては、向上を図る更なる取り組みの検討と実践が必要と考える。 ・保育の質を含む保育園運営の質的向上を図るためには、職員体制の充実をはじめ、職員の負担軽減、一層の業務の効率化、能率的組織体制などが必要と考えられ、出来るところから速やかに着手していく必要があると考える。
------	---